



オリジナルデザインの結婚式をプロデュースする「リア・フィーユ」

企業づくりをしています。

シニア世代に対してはライフスタイル・コンシェルジュを無料で開放しています。お子さんに対しては「キッズデュオ」という、英語で対応する学童保育をやっています。あと、私は特養の理事長もやっています。

100年間お世話させていただくために、予防医療もやりたいと思っています。また、100年間お世話をするためには、教育も医療も必要だし、プライダルも重要になる。

そこで、2年前から完全オリジナルデザインの結婚式をプロデュースする「リア・フィーユ」を設立しました。当社には料理部門も生花部門も、そしてハイヤーもあるので、結婚式をやる環境が揃っ

ています。

そして最後に清月記としてお世話をさせていただくためには、家の処分もお墓や車の処分もやらなければなりません。うちにはタクシーもハイヤーもあるから、それを使っただけで、車の維持費や保険を考えると安いし、何より安全です。

お客様が求めていることをワンストップで提供

——ライフスタイルのあらゆることを、ワンストップでサービス提供されていますね。

菅原 樹木葬をはじめました。仙台から少し南に行った蔵王町にある保昌寺さんと共同で、「蔵王メモリアルパーク 楓の丘」という樹木

葬墓地を販売しております（月刊フューネラルビジネス2018年3月号参照）。石伸という墓石の事業会社もありますので、樹木葬だけでなく、普通のお墓についても相談に乗れます。もちろん墓じまいについてもサポートいたします。——そのほかお考えになられていることはありますか。

菅原 今春には海洋葬もやる予定です。クルーザーで日本三景・松島ではじめます。松島ですから、県外からのご利用もあるでしょうし、東京からもお見えになるのではないかと考えております。さらに、海が見えるところにお堂をつくり、お参りできる場所もつくり

ます。——菅原社長、人生100年ということ

は、あと40年以上は頑張らなければいけませんね。  
菅原 何より仕事が好きなので。去年の市長選でも、葬祭業の経営者が、政令指定都市である仙台の市長になることは大きなチャレンジだった。自民党が最悪の状態だったにもかかわらず、推薦していただき、知事や当時の市長からの応援もいただいた。こんなにすばらしい経験はそうそうできることではありません。残念ながら私の力不足だった。もう少し時間があればという想いはあります。

そういう意味では、プラス思考だから去年の結果は悪くはない。人生のなかではそこを通らざるを得なかった。

——さらに葬祭業界を革新してもらわなければなりません。

菅原 去年の結果は、きっと業界から離れるな、ということなのでしょう。

人はいろいろな人にお世話になりながら生きている。最後のセレモニーを安い高いという金額だけのことで片づけてほしくない。親は子どもに迷惑かけたくないからといって、子どもは伝えられたことを鵜呑みにしてしまうのはちょっと違うと。ここまで育ててもらった感謝が必要で、何も立派なお葬式をすればそれでいいというのではないが、1つの信念をもって送ってほしい。

そのお手伝いはこれからもしていきますよ。

——業界全体が厳しい状況になっている。

菅原 自分の仕事に自信をもってやって、業界に対してもそうだし消費者に対しても。あるいは異業種の人たちも興味深く見ている人たちはいる。そういう人たちに向けて、情報を発信していくのはとても重要だと思う。

今後淘汰が進むなかで、信用できる、しっかりとした葬祭業者さんたちがグルーピングされていくかもしれません。

——そうしないと、消費者が求めているワンストップの商売はできなくなる。

菅原 そうかもしれません。だから「東北なら清月記が必要だ」と

言ってもらえるような企業づくりをしていかなければならない。「清月記はやっぱりはずせないよね」「清月記と一緒に仕事がしていきたい」と言われるような魅力ある会社にするための努力をしていかなければいけない。

——そういう提携、M&Aは想定しているのですか。

菅原 それは次の世代が考えること。私はみんなに言っているが、「俺がそれをしたから、これだけは絶対はずせないのだということを考えるな」と。私がやったこと、私がつくってきたこと、言い続けてきたことに固執しては、次の世代では競争力が弱まってしまうこともある。時代が変わればそれまでの考え方を180度変えなければならぬこともある。残るものは残る。

これからも清月記が残るための方策、施策として、考えるのは次の世代の人。働いている人たちが働ける環境をつくるのが経営者。経営者が裕福になるために会社を経営しているわけではない。清月記は、この街にとって、中小企業の一角として、400人、500人の働く環境をつくっているという責任がある。働ける環境を継続していくために、企業は残していかなければならない。

——御社は葬儀社ですが、キッズから特養、お墓まで含めて提供されている。総合ライフサービス企業に進化されている。

菅原 ライフサービスのすべてをプロデュースしてあげられるような企業になりたい。教育、プライ



ダル、特養、葬儀とやっていますが、子どもが独立して大きな家が必要ないのなら、家売って、便利なところでマンションを借りましょう。10年後に元気だったら、新しい賃貸マンションに移りましょう。少し元気がなくなっていたら、認知症になる前に有料老人ホームに入っておきましょうとか、こうした提案をしながら生活設計のお手伝いをしながら、100歳まで元気に生きましょうと。

——まだまだやることはたくさんありますね。

菅原 たくさんある。清月記にお金を一所懸命使ってもらいましょう。無駄なお金ではない、私たちから言ったら、いいお金、生きたお金を使いましょうと。

——これからも葬祭業界のために頑張ってください。

菅原 好き勝手に私見を述べてしまい、関係者の皆様に対しましていろいろと失礼があったかもしれませんが、元気な業界にしていきたいと思っておりますので、どうかご容赦ください。

——本日はありがとうございます。

英語力 Kids Duo  
27 KD上 杉 新規オープン!  
19 KD泉中央  
お仕事を待つあなたも安心、全く新しい、アフタースクール  
Kids Duo  
After School Care  
Pre School Care  
1268 教室

THE ROYAL HIRE  
カー・ロイヤルハイヤー  
0120-098-818  
カー・ロイヤルハイヤーは、お客様のニーズに合わせた、最適なカーを提案いたします。  
カー・ロイヤルハイヤーは、お客様のニーズに合わせた、最適なカーを提案いたします。